

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。第1期生の12月の海外での挑戦の様子などについて、お届けします！現在は3名が帰国し7名が留学中！

学生留学コース

坂上 涼一 さん（北海道情報大学） ～ICT先進国で学び 観光アプリを開発～

多様化した観光ニーズに対応する、高度なIT技術を学ぶためフィンランドへ8月から5か月間の留学中。

教育アプリ開発コンペの最終プレゼンを実施し、教育者、ゲームデザイナーなどからフィードバックを受けました。

起業家を育てる授業として、開発したアプリのアイデアは大学に保管し販売ができるよう配分方法まで話し合い、大学とチームメンバーとで誓約書にサインを交わしました。



高橋 宗一郎 さん（酪農学園大学） ～ワイン酵母を研究し道産ワイン産業に貢献～

ワインの天然酵母の研究のため、イタリアトップクラスの大学研究室に9月から4か月間の留学中。

12月は留学の総まとめの月。4000年以上前からワイン用のブドウが作られてきた地中海のサルデーニャ島に移り、6件のワイナリー訪問と1件のブドウ栽培農家を訪問。

生産者ごとにビジネスと哲学（理想）のバランスをとりながらワインを製造していることへの理解が深まりました。



中川 峻貴 さん（北海学園大学） ～ハラール食の現地調査で道内企業と海外の架け橋に～

ハラールについて学ぶためマレーシア等3カ国へ8月から6か月間の留学中。

インドネシアの日本食レストランや食品メーカーなど約10社を訪問。インドネシアの食文化やハラール認証等のビジネス制度への対応状況などをヒアリングしました。

日本食が親しまれていると感じます。ハラール認証ではトレーサビリティが重要で、特に衛生面や宗教面で安全性を証明できる原材料探しに苦労される企業の声が多くありました。1月初旬から中東のUAEでの現地調査を始めます。



畠山 陸 さん（小樽商科大学） ～東南アジアでゲストハウスを立ち上げ北海道との交流拠点に～

起業家としてのスキルアップとゲストハウスの海外進出に向け、ベトナムで4か月間の企業インターン中。

12月はとにかく法律関係のチェックの1ヶ月となりました。現地の物件オーナー、仲介者、弁護士、ベトナム政府、インターン先とのやりとりを繰り返し、物件の仮契約を再度結び、年明けから法人化へ移行できる下準備を完了しました。

多くの関係者との調整作業を通して、海外ビジネスのハードルの高さを体験しました。みらチャレ終了後も、春までインターンを継続し、OPENを目指して活動します。



福沢 大貴 さん（北星学園大学） ～アイヌ文様を発信しアイヌファッションの逆輸入を～

ファッションを通して、アイヌ文様を世界に発信し、逆輸入することを目指して、英国へ9月から5か月間の留学中。

12月は悩みながらも、アイヌ文様を活かしたファッションの個人展示会の実現の目途を立てることができました。ファッションデザイン学部の先生方や語学学校で日本語を学ぶ学生、日本人の友人などに相談し、会場となる教室やマネキンの提供などの協力を得ることになりました。

また、製作の中で、改めてアイヌの方達が伝統を受け継いできたことに感銘を受けています。



古里 裕之 さん ～本場フランスで研鑽を積み、道産ジビエ料理に革新を～

本場フランスのレストランで7月から6か月間の研修中。

パリの老舗二つ星レストランLe Tailleventでの研修を継続し、フランス人の作る大胆かつ自由な発想、原点を崩さない食材の組み合わせや保存過程で生まれ出た食材本来のうまみ成分など、これまで日本で作り上げてきたものの違いを少しずつ感じとっています。

12月は街中クリスマス飾り、何とも言えない楽しい雰囲気、みんなが集まり、日本の正月のようでした。



未来の匠コース

スポーツコース

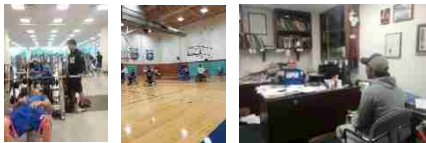
齊藤 雄大 さん

～先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国の米国で8月から1年間の研修中。

12月は特別なイベントが少なかったのですが、研修先のテキサス大学車椅子バスケットボールチームで、毎朝7時からトレーニング、午後には英語クラスで学び、週2回社会人チームと練習試合を行うなど、チームメイトも認める「タフな生活」を送っています。

また、コーチとミーティングを行い、指導や運営、協会など他の組織との連携の方法などについて指導を受けています。



山 あずさ さん

～本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献～

ラグビーの本場ニュージーランドで11月から1年間、所属する強豪クラブで自らプレーしながらコーチングを修得中。

地元ワイカト代表とペレー代表の合同練習を見学に行ったところ、ペレー代表コーチに誘われ、同国代表に加わって一緒に練習させていただきました。その後も週に3回、参加させていただくことができ、とても貴重な経験になりました。

ワイカトの女性コーチからは良い意味で選手との距離感が近いことを感じ取り、オークランドの女性指導者から基本スキルを的確に指導してもらうなど素晴らしい時間を得ました。



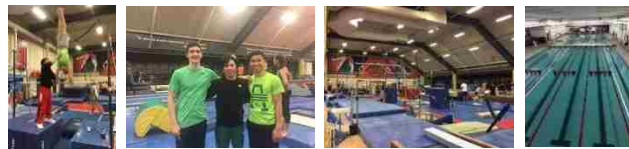
廣田 修平 さん

～先進のジュニア育成方法を学び、道産子オリンピックを～

体操競技のジュニア育成システムの先進地米国で11月末から4か月の研修を開始。

12月は環境変化になれる日々が慌ただしく進みましたが、研修先である非常に大きなスポーツクラブで、選手育成コースの指導員と一緒に実践指導の勉強をしています。

米国の体操競技のシーズンが1月から始まるため、できるだけ幅広い世代の多くの競技会に足を運びたいと思います。



文化芸術コース

西野 留以 さん

～ダンスを通して北海道を明るく元気に～

世界の様々なジャンルのダンスやスタジオ・ステージ構成を学ぶため、米国で1月から3か月の研修を開始。

1月上旬、研修を開始するため、アメリカロサンゼルスに向け出発しました。



第2期生 平成30年4月 募集開始 (予定)



※事前の相談は随時受付けています。

応援パートナーの皆様

(平成29年12月現在・敬称略)

有末 真哉 遠藤 光二 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹

古本募金による寄附を受け付けています。 古本募金 ハッピープロジェクト

応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。(これまでの寄附 191人の方から2,413冊)

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



第1期生のチャレンジ風景をお届けします。

